

谷川岳(西黒尾根コース)山行報告

【山行日】2017年 7月 8(土) 快晴
【集 合】岩舟支所P AM 4:00
【費 用】マイカー1台 : 4,300円
【メンバー】CL:鈴木、石川、梶内、藤原、松舘
【コースタイム】岩舟支所 P4:00=谷川岳ベースプラザ P5:45/6:10~西黒尾根登山口 6:25~鉄塔 6:50~ラクダの背 8:30~ザンゲ岩 9:40~肩の小屋分岐 10:00~トマの耳 10:15~オキの耳 10:30/10:40~肩の小屋 11:20/12:00~熊穴沢避難小屋 13:05/13:15~



天神平 13:45/13:55+++谷川岳ベースプラザ 14:05/14:30=岩舟支所 P16:40

夏山トレーニング山行第3弾は、谷川岳西黒尾根コースを計画した。7/9(日)に計画したが、天気



予報では雨マークが消えない。仕方なく天気が良い8日(土)に変更し皆さんに連絡したが、参加者は5名と半数以下になるので9日は天気が良い丹沢・塔ノ岳に変更して登ることに変更した。

朝4時に岩舟町役場を出発し、5:45谷川岳ベースプラザ駐車場に着く。支度を整えトイレを済ませ、6階出口を出た所でストレッチを済ませ出発する。舗装道を右に登って行くと車止めゲートがあり、そのすぐ先の登山指導センターで登山届を出してゆく。センターから舗装道を進み、カーブを3つくらい過ぎた所に「西黒尾根登山口」の指導標が立っている。ここから登山道を登るよう

になり、いきなり息がきれそうな急な登りになる。樹林帯の滑りやすい登山道を、ゆっくりした歩調で登って行く。後続に次々と追い越されるが、登り始めはあせらずにゆっくり登ることが肝要だ。やがて送電鉄塔がある台地に出て、休憩を取り衣服調整と水分を補給する。広葉樹林の中の、蒸し暑く苦しい急登をひたすら登ると尾根に出て、天神平や高倉山方面の展望が開ける。ここから尾根伝いに進むと、樹林帯が終わり岩稜の尾根に出る。休憩を取り、景色を見ながらパイナップルを食べ水分を補給する。岩稜を少し進むと最初のクサリ場が現れ、ストックをザックに付け慎重に通過する。すぐにラクダの背と呼ばれる狭い岩稜帯に出て、正面にこれから登るトマの耳とオキの耳が聳え素晴らしい。



右側のマチガ沢から吹き上げる涼風に励まされ、岩稜の急登を一步一步登って行く。好天で日差しが強く、汗が吹き出し休憩をまめに取って水分や塩分を補給する。このあたりから暑さでバテバテで、足取りが重く中々前に進まない。一步一步高度を稼ぎ、大きな岩を左から回り込むと広く平らな



岩の上に出る。さらに歩きにくい岩稜を登ると、尾根は広くなりルートが分かりにくく、ペンキの目印を頼りに登って行く。やがてV字状の岩溝を登り、クサリ場を登ると左側に大きく平らな一枚岩に出る。このあたりが氷河の跡と呼ばれている岩で、岩の上で休憩をとる。さらにクサリ場のある急な岩場を登ると、ザンゲ岩と呼ばれる大岩の横を通過し、一がんばりで笹の中の道になる。すぐに大きな雪田をトラバースすると、肩の小屋とトマの耳の指導標に出る。右に進んで10

分程登ると、谷川岳山頂のトマの耳に着く。丁度このころからロープウェイで登って来る登山者が来て、山頂は沢山の登山者で賑わっていた。一休みして記念写真を撮ろうとすると、山頂の標柱の前に順番待ちで並んでいる。写真を撮ったら最高峰のオキの耳に向かう。トマの耳からオキの耳の間は高山植物の宝庫。ホソバヒナウスユキソウやイブキジャコウソウなどの花を楽しみながらオキの耳に着く。トイレに行ったK内さんも山頂に着き、記念写真を撮ってから休憩する。眺望を楽しみながらパイナップルや菓子を食べ、エネルギーを補給する。オキの耳から肩の小屋に向かい、肩の小屋でランチタイムとする。トイレを借り空いているベンチを見つけ、全員移動して昼食の準備をする。今日の山ご飯は焼きそばで、早速準備をするが疲れで段取りが進まない。見かねたI川さんが手伝ってくれ、何とか焼きそばが出来上がり食べ始める。皆疲れたようでなかなか食が進まず、ようやく食べることが出来た。お茶を飲んで休憩したら下山する。下山は天神尾根コースを下り、天神平のロープウェイ駅を目指す。天神尾根からの登山者が多く、雪溪の下りはすれ違いで待たされる。なかなか途切れないので、声を掛けて待ってもらい無事下り切る。ところがこの先に団体のパーティーが下っていて、ガレた岩場で



大渋滞になっている。炎天下で待たされ、増々体力を消耗する。やっと熊穴沢避難小屋に着き、小屋の中で最後の休憩をとる。冷えたヨーグルトとパイナップルを食べ、元気を取り戻して下山する。ここからは団体さんの先に出て、谷側からの涼しい風を受け快調に下って行く。

振り返るとオキの耳・トマの耳がくっきりと見え、「さっきまであの上に居たんだよね」と話しながら下り天神平に着いた。ロープウェイで谷川岳ベースプラザまで降り、ベースプラザのレストランでかき氷を食べる。今日のかき氷は格別に美味しく、皆さん口を揃えて「生き返った～～」と元気を取り戻したようだ。2Fの駐車場に戻り、靴を履き替え帰路につく。明日も天気が好転し、西黒尾根コースを登れそうだが、さすがに連荘はきついので若いK川さんにCLをお願いすることにした。

赤城高原SAからK川さんにTELすると快諾してくれ、ルンルン気分で運転し岩舟支所に帰着した。